

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

2018年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE



ゾマホンから皆様へ



写真：あいのり小学校

このプロジェクトにご協力頂いている多くの日本人の皆様、そして外国人の皆様。

北野武さんのアイディアで2009年に始まったこの「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？」プロジェクトは、皆様のおかげで、9年目を迎えました。今まで続けることが出来ているのも、皆様のご協力のおかげです。ベナン国民の代表として、心より御礼を申し上げます。このプロジェクトは、給食会員の皆様の人間性と愛情に基づいた行動と想いの結晶である浄財を使わせて頂いておりますので、私がベナンに帰るときには、ベナン政府の方々に、皆様の想いと、プロジェクトのことを報告し、給食の大切さを伝えております。

私も先日、各小学校を回りましたが、生徒、先生、PTA、村の方々からも、当プロジェクトについて、高い評価を頂きました。ベナン政府にも都度、報告しておりましたところ、皆様のおかげで、ベナン政府も動き、前年度から、WFP（国連食糧計画）とも連携し、給食プロジェクトを開始しました。残念ながら、IFEが給食を提供している小学校は、対象校とはなりませんでしたが、大きな一歩だと思えます。

皆様からの想いと期待を受け、このプロジェクトを更により良いものとするために、私も更なる努力をしていきたいと思えます。

皆様のご健康とお幸せを祈っております。

これからも、当プロジェクトを宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人IFE 理事 ゾマホン

給食会員の皆様

拝啓

日頃より「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？」プロジェクトにご賛同下さり、誠にありがとうございます。

当プロジェクトは、現在も継続しておりますので、ご安心ください。

本プロジェクトもお陰様で2009年のスタートから、8年目を迎えました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。

また事務局の一員として、この活動に少しでもお役立ちできるよう、今後も活動を継続して参ります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

それでは、2018年度の活動報告をご覧下さい。

敬具

「ぼくたちにお昼ごはんおごってくれませんか？」事務局

プロジェクト履歴	日付	金額
第01回目送金	2009/5/8	3,660,000
第02回目送金	2009/9/24	2,700,000
第03回目送金	2010/4/28	4,340,000
第04回目送金	2010/9/15	1,500,000
第05回目送金	2011/2/23	1,550,000
第06回目送金	2011/3/23	2,000,000
第07回目送金	2011/4/1	800,000
第08回目送金	2011/9/7	580,000
第09回目送金	2011/10/7	700,000
第10回目送金	2011/12/20	3,100,000
第11回目送金	2012/1/4	500,000
第12回目送金	2012/1/31	1,500,000
第13回目送金	2012/4/2	1,360,000
第14回目送金	2012/5/1	740,000
第15回目送金	2012/9/28	1,000,000
第16回目送金	2012/12/21	1,764,000
第17回目送金	2013/4/12	1,254,053
第18回目送金	2013/9/30	3,276,306
第19回目送金	2014/7/30	3,754,443
第20回目送金	2015/2/24	790,000
第21回目送金	2015/9/28	2,316,470
第22回目送金	2016/4/25	667,172
第23回目送金	2016/6/29	2,000,000
第24回目送金	2016/8/22	3,000,000
第25回目送金	2017/10/20	1,880,000
ご寄付の総額		¥46,732,444

皆様からの浄財は、前回までで、総額46,732,444円頂戴し、現地に送金しております。

1円（現地通貨で約5cfa）でも多くの浄財を給食に充てたいのですが、やはり、ほかにも使わなければならないことは多々ございます。

例えば・・・

- ・給食調理員へのお礼や交通費
- ・食器（皿、スプーン等）
- ・調理器具（鍋、包丁等）
- ・燃料（主に木炭）
- ・衛星用品（石鹸、洗剤等）

現在、このようなコストを、如何に減らし、子供たちへの食材とするかを、村の人たちと一緒に考えております。

日本からの寄付だけに依存せず、村や、各家庭、各個人でも何か出来ることはないかを考えて貰っております。

また、現地の小学校には、井戸があり、その井戸の水で、給食を作ったり、子供たちの飲料水としておりますが、残念ながら、壊れてしまった井戸もあります。その場合、数キロ離れた井戸へ汲みに行っているのが現状です。

ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？ あいのり小学校の給食風景



子供のお母さん達の愛情を含めた給食



食べる前には手洗いを徹底



礼儀正しく、しっかり並び



配膳も、お母さんたちの仕事



給食の時間は学年は関係なく交流



日本の皆様、本当にありがとう



始業時間を呼びかける校長先生



PTA代表と給食のおばさん

あいのり小学校の先生方

私は、コリンズ県アパリ村にある、あいのり小学校の校長のディダベです。

この小学校は、町からとても離れた場所にあります。このような田舎の小学校に、給食を出してくださる皆様に、本物の愛情を感じて、感謝しています。

電気もなく、多くの先生も着任したがない小学校です。このような村に学校建設するだけでなく給食を出してくださる日本の皆様の愛情を生徒たちに伝えたいと思います。



いのうえ小学校の先生方

コリンズ県ベテク村の校長のソサです。こんな遠いところに学校を作り、給食を出して頂き、ありがとうございます。また、今度は、電気のないこの学校に、日本の会社が日本のソーラーパネルで、電気を付けて下さるそうです。電気がない小学校には先生は集まりにくいので、今は4人体制ですが、これで、いい先生が来てくれるかもしれません。

日本の皆様は素晴らしいです。日本万歳！



たけし小学校の先生方

ベナン共和国のパラク市コロボロール村にある、たけし小学校の校長のアドコでございます。宜しくお願いします。

2009年のプロジェクト開始当初から今まで、9年間、日本の皆様のおかげで、子供が毎日、給食を食べることが出来ています。給食が始まる前は、家庭の事情で、休む子供が目立ちましたが、給食が始まって以降、生徒数が増え続け、多くの子供たちが勉強することが出来ています。

更に、それまで村民が興味がなかった、幼稚園に通う子供の人数も増え、栄養のある給食を食べ、元気に育っています。プロジェクトにご協力いただいている皆様に、心から感謝しております。



所ジョージ小学校のPTA会長

ベナン共和国チャウルー市ゴロ村のPTA会長のボニでございます。

小学校の先生方、全生徒、村の皆様に変わり、プロジェクトの皆様に対し、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私が一番嬉しいことは、子供たちが、学校に行く時に嬉しそうに、笑顔で学校に通っていることです。給食が始まる前は、このような笑顔は少なかったと思います。

このような素晴らしいことをしている、日本の皆様に、神様のご加護がありますこと、そして皆様のご健康とご多幸を心からお祈りしております。本当にありがとうございます。これからも、宜しくお願いします。



ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？ おわりに

みなさま、ここまで報告書をお読みいただき、ありがとうございました。

現ベナン大統領は、当選当初から学校給食が学校教育において重要な役割を果たしていることを認識し、ベナンでの学校給食の改善に向けて行動しており、現在31%の公立小学校での給食実施率を2021年までに51%、更にWFP（世界食料計画）と協力し、全国の公立小学校に広げる目標です。今年度はWFPから50億ドルを追加提供されます。

実は、ベナン隣国では学校給食が実施されており、国境付近の家は、学校給食が実施されている隣国の学校に通うことがあり、ベナン政府としては、まず国境付近の学校での実施を優先させています。

当プロジェクトの事務局をしておりますNPO法人IFE（日本）と、IFE財団（ベナン）は、日本語学校を基盤として活動しております。活動は「教育」「環境保護」「社会福祉」「アジア(特に日本)とアフリカ(特にベナン)の架け橋」と幅広く活動しております。しかしこれは一つ一つ別の活動ではなく、常に包括的な視点を持っております。

日本語学校で育てた生徒、特に留学生は、農業、食品衛生、薬学、栄養、環境、電気、教育、林学、情報工学、土木、建築、国際関係等々、幅広い分野で勉強しておりますが、例えば給食には、教育、農業、食品衛生、栄養等々の分野が絡んできます。

ベナンを発展させるのはベナン人自身であるべきです。「給食」という課題に関し、将来のベナンを担う彼ら自身が考えて解決して貰いたいと考えております。

前回の報告で、栄養価の高い「モリンガ」を給食に入れている事を報告致しましたが、このモリンガ栽培にも日本語の生徒を参加させています。

また今回の報告で少し触れました「学校電化」も日本語の生徒が工事をします。

このように、給食を通じて、次世代の人材も育てていきたいと思っております。

今回の報告の為、各小学校を訪問したところ、問題点もたくさん出てきました。

例えば、基本的に北部の学校には、電気設備はありません。そして、電気のない学校に教員は行きたがらず、教員不足となっております。

そこで「小学校電化」の声をかけてくださったのが、Kens.co株式会社の川口信弘社長です。もしよろしければ、下記をご確認ください。

<https://faavo.jp/saga/project/3069>

日本の方の浄財で設立された学校に、日本で農業を学んだ生徒が食材を提供し、日本で食品衛生を学んだ生徒が管理し、日本の技術が詰まったソーラーパネルを電気技術者の生徒が工事をする……。このような協力体制が出来れば、新しい支援の形が見えると思っております。



写真：いのうえ小学校

ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？

2018年度 活動報告書 ～動画配信～

特定非営利活動法人 NPO

You Tube

ぼくたちにお昼ごはんおごってくださいませんか？

検索

昨年度に引き続き、Youtubeでベナン共和国の給食プロジェクトの様子をアップしています。
ぜひインターネットで上記の言葉を入力し、検索してみてください。

動画があり



動画があり



いのうえ小学校の給食の様子

●校長先生へのインタビュー

- 日本の皆さんに感謝したい。給食プロジェクトのお蔭で、遠い村からも子どもたちが小学校に通うようになった。（就学率が上がった。）
- 通常は7時に登校して、すぐに掃除から始めるんだ。
- 将来、ベナンの発展のために頑張ってくれる子供たちを育てたい。

●給食スタッフにインタビュー

- 子供たちには手作りで温かいものを食べさせてあげたい。
- 辛いソースにしているのは、髄膜炎予防にもつながる。
- 子供たちの健康の事も考えた献立づくりをするのよ。

継続手続きのご案内

特定非営利活動法人IFE

1 お振込み

みずほ銀行 八王子支店 普通預金 1191043

特定非営利活動法人 IFE きたの基金

カナ名義 : トクヒ) IFE キタノキキン

手続き後のご連絡について

お振込名義だけでは、個人様を特定できない場合もございますので、お振込後にメールにてご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

領収書について

経費削減のため、領収書が必要な方のみ、事務局からPDFファイルにて送信いたします。必要な方は、ご連絡下さい。

2 ご連絡

ご本人様確認をさせていただきますので、メールにて**お振込日、お名前、お振込名義**をご連絡下さい。なお、返信が遅くなる場合もございますが、何卒ご了承下さい。

各種変更について

初回のお申込時から住所等、変更がある場合は、メールにて変更内容をご連絡下さい。

※お振込に関する、お振込手数料はご負担下さい。

※当法人は、事務所経費削減のため、個人宅を事務所登記しております。
大変恐縮ですが、お電話・郵送はお控え下さい。

※当事務局宛のご連絡はメールにてお願いします。

※経費節減のため、報告はメールにて連絡させて頂きたいと存じます。
メールアドレスの変更等ございましたら lunch@npo-ife.jp までご連絡ください。

事務局は全員、正職を持ちながら、ボランティアで運営しております。行き届かない事も多々あると存じますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人IFE

NPO法人IFE

Non-Profit Organization IFE